

I 令和6年度事業の実施状況

1. 概要

1997年(平成9年)に臓器移植法が施行され、脳死下での臓器移植が行えるようになったことに加え、2010年(平成22年)には法の改正により、家族の承諾により臓器提供が可能となった。それらを受け、提供件数が年々増加傾向となっていたが、新型コロナウイルス感染症の影響で一時激減したものの、2023年には回復し過去最高となる149件の提供件数を記録した。2024年は僅かに減少したものの138件と過去2番目の臓器提供件数であった。

本県においては、令和6年度は24年ぶりの脳死下臓器提供が4月にあったほか、7月と翌年2月にも発生し、単年度では全国トップクラスの実績となった。また、提供者は6才未満から、成人、60代と全世代を網羅したことに加え、搬送にあたっては夏場に加え、厳寒期においても全く問題なく全国各地へ臓器を送り届けることができ、医療従事者に限らず、全ての関係者において多くのスキルを蓄積することとなった。

これらの状況も受け、県民への普及啓発や医療機関への支援を実施した。

令和6年度の事業実施状況は、次のとおりである。

2. 普及啓発事業

(1) グリーンリボンキャンペーン in AKITA の開催

臓器移植に対する理解を深めるため「臓器移植普及推進月間」に合わせて、県民を対象とした健康や移植医療等に関する市民公開講座を行った。

開催日：令和6年10月14日（祝日・スポーツの日）

会 場：「アルヴェ」多目的ホールA

内 容：つなぐ「患者のために私ができること」

講 師：渡邊克夫先生（旧・秋田メモリアルクリニック院長）

参加者：110人

(2) グリーンリボンライトアップ事業の実施

移植医療への意識啓発を図るため「臓器移植普及推進月間」に合わせて、移植医療のシンボルカラーであるグリーンで建物等をライトアップし、普段とは違った景観を通じて、県民に移植医療を周知した。

実施建物等：①ABS 本社&電波塔 10月15～20日 17:00～22:00

②ポートタワー・セリオン 10月1～16日 16:30～22:00

(3) 街頭キャンペーンの実施

臓器移植に対する理解と普及啓発を図るため「臓器移植普及推進月間」と「眼の愛護月間」に合わせて、県腎臓病患者連絡協議会やライオンズクラブ等との共催で、一般通行人を対象に、国内臓器移植の現状紹介や意思表示についての資材等の配布を行った。

また、10月以外にも秋田駅ぽぽろードで街頭PRを実施した。

- ・街頭キャンペーン 10月6日（日）9:30～11:00
- ・街頭PR（各1時間） 5月19（日）10:30～、7月17（水）15:30～、1月22（水）14:00～

(4) 新聞への広告掲載

「臓器移植普及推進月間」に開催する市民公開講座やライトアップ等の告知に加え、健康保険証等での意思表示についての周知を図るため、秋田魁新聞の「さきがけ情報プラザ」に広告を掲載した。掲載日：10月8日（火）

(5) デジタルサイネージによる普及啓発

「臓器移植普及推進月間」に開催するイベントの告知や意思表示を推進するため、公共施設等に設置されているデジタルサイネージを活用したPRを行った。

実施箇所等：秋田県庁正面玄関 10月7～18日
県鹿角地域振興局 10月1～18日
県由利地域振興局 10月1～18日

(6) 種苗交換会・普及推進キャンペーンの実施

移植医療の周知や県民の意識等を調査するため、県内有数の大規模イベントである種苗交換会において、ブースを設けて移植医療についての資料を展示・配布するとともに、来訪者に対しアンケートを実施した。

開催日：11月1～5日
会 場：鹿角トレーニングセンター「アルパス」
結 果：回答数 594 有効数 581 有効回答率 98%

(7) 臓器不全の予防に関する普及啓発事業の実施

腎臓病に対する知識の普及と臓器移植に対する理解を深めるため、県腎臓病患者連絡協議会と共催で「腎臓病を考える集い」を開催した。

日 時：12月8日（日）14:00～15:30
会 場：秋田県社会福祉会館 第3会議室
内 容：「災害時の食事管理」 講師：児玉英美子（秋田赤十字病院栄養課係長）
参加者：25名

(8) 「いのちを考える学習会」の開催

児童・生徒等に移植医療を知ってもらうため、学校等からの依頼に応じて「いのちを考える学習会」を開催し、講話を通して命の大切さを伝えた。

① 南部ふれあい学級（保護者）	開催月日 5月15日	参加者 9名
② 六郷高等学校（2年生）	6月18日	38名
③ 令和高等学校（希望者）	8月6日	21名
④ 河辺中学校（全学年）	11月8日	81名

⑤ 旭北小学校（6年生）	開催月日 11月18日	参加者 28名
⑥ 花輪小学校（6年生）	12月10日	65名
⑦ 白神看護学院（3年生）	2月27日	27名

(9) イオングループからの支援に向けた登録

イオングループが、社会貢献活動として実施している「幸せの黄色いレシートキャンペーン」*の応援登録団体への登録を行い、寄付を受けた。

※毎月11日（イオンデー）に、投函されたレシート金額の1%が団体に贈呈される。

(10) グリーンリボンサポーター事業の実施

移植医療の普及啓発を、企業や団体単位で進めるため、企業等に働きかけ当該趣旨に賛同いただいた企業等を「グリーンリボンサポーター」と認定し、各種啓発資材等を供与するとともに、それらを活用した自主的な活動を支援した。

新規加入：2団体（累計74団体）

3. 相談・助言に関する事業

県民を対象に、角膜移植を含め移植医療全般についての疑問・質問・相談等に対し、電話やメール、面談等により対応することに加え、医療関係者からの移植医療制度や具体的な手続等の相談に応じた。

実績：31件

4. 臓器移植環境整備事業

(1) 院内臓器移植コーディネーター・医療ソーシャルワーカー合同研修会の開催

臓器移植の知識習得や、具体的な事例を想定した症例検討、病院間の情報交換を図るため、重要な役どころであり、その連携が求められる「院内臓器移植コーディネーター」と「医療ソーシャルワーカー」を対象に、合同の研修会を開催した。

日時：9月20日（金）14:00～15:30

会場：「アルヴェ」多目的ホールA

内容：「全力の看取りから臓器提供まで」

講師：中尾 篤典先生（岡山大学病院高度救命救急センター教授）

参加者：39名

(2) 移植医療推進委員会の開催

県内移植医療の推進を図るため、移植医療関係者による「移植医療推進委員会」を設置し、普及啓発や院内体制整備等の様々な課題について、それぞれの立場からの示唆や提言・議論を行った。

日時：令和7年1月14日（火）17:00～18:00

議題：「令和6年度 of 取組みと次年度事業について」

参加者：12名 ※全委員13名

(3) 脳死下臓器提供に係る関連団体連絡会議の開催

脳死下臓器提供事例が発生した場合に、混乱なく本人・家族の意思に沿った提供ができる体制の確認と情報の共有を図るため、関連団体の連絡会議を開催した。

日 時：7月16日（火）14:00～16:00

議 題：「県内での臓器提供実例から」

発表者：医師、県消防防災航空隊(防災ヘリ)、秋田空港管理事務所、
秋田市消防本部、県警地域課

参加者：36名

(4) 入院患者に対する意思表示啓発資料の配付

移植医療への理解と臓器提供に関する意思表示を推進するため、協力を得た医療機関に限定し、全ての入院患者に意思表示啓発資料を配付した。（希望医療機関のみ）

実 績：18病院（計21,900枚）

(5) 病状説明支援事業の実施

人生の最終段階（旧：終末期）となった患者の家族を対象に、患者の希望を尊重したうえで家族も納得のいく最後となるよう、現在の病状説明や今後取りうる対応等をまとめたリーフレットを配布した。

実 績：26病院（計1,300部）

(6) 院内体制整備への支援

院内コーディネーターを設置している医療機関を対象に、4月と7月に発生した脳死下臓器提供事例に基づく研修会を11月に開催した。

また、国庫補助事業の「臓器提供施設連携体制構築事業」に参加している県内4病院への様々なアドバイスや支援を行った。

(7) 透析施設への情報提供

移植医療に関わる経費負担等を軽減するために、当協会が実施している「組織適合（HLA）検査費用助成金」事業についての周知をはじめ、慢性腎不全の治療法に関する資料を作成、送付した。

実 績：43施設

(8) 臓器提供への対応

臓器提供事案を円滑に進めるため、臓器提供に関する家族への説明や、提供から移植までの手続、提供施設から移植施設までの臓器搬送、提供後の家族ケアなど、ドナーとその家族への対応を24時間体制で実施した。

実 績：27 件（情報提供 5、隣県支援 4、家族対応 17、講師依頼 1）

5. 眼球あっせん等に関する事業

(1) 眼球提供者等の登録

献眼登録者の増加を図るため、市町村やキャンペーン等を通じてパンフレットを配付し献眼登録を呼びかけるとともに、登録希望者の受付、登録、登録カードの発行を行った。また、移植希望者についても登録を行った。

新規登録実績：献眼 5 名、移植希望 1 名 ※待機者：10 名

(2) 角膜、強膜のあっせん

提供を受ける眼球の摘出及び移植を希望する患者への角膜等のあっせんを行った。

実 績：角膜 2 件（献眼者 1 名）

(3) 献眼登録者に対するフォローアップの実施

献眼登録者の尊い意思が献眼に確実に結びつくようにするため、登録者を対象に、献眼に関する資料と協会だより、冷蔵庫マグネットを配布した。

実 績：マグネット等の送付 270 名（60 代）、協会だより等の送付 500 名

※マグネットの送付は昨年度 70 代以上に送付済み

6. 情報提供事業

(1) 機関紙の発行

当協会の取組等を周知するため「あきた移植医療協会だより」を作成し、行政や公共施設、医療機関、賛助会員等へ配布した。

(2) 協会ホームページの運営

協会の各種事業の告知や実施報告に加え、国内の移植医療に関する情報を県民に提供し、移植医療の理解の促進に努めた。

7. 助成事業

臓器提供遺族に対する敬弔金の支給や組織適合（HLA）検査に対する助成、臓器摘出費用助成事業等を実施した。

実 績：①敬弔金（臓器提供遺族）3 件

②組織適合 HLA 検査費用助成金（移植希望登録者）6 件

③臓器提供費用助成金（臓器摘出等医療機関）3 件

8. 調査・研究事業

(1) アンケート調査の実施

県民の移植医療に対する意識を把握し普及啓発活動の参考にするため、キャンペーン等を通じて「移植医療について」のアンケート調査を実施した。

(2) 情報収集

日本臓器移植ネットワークや日本アイバンク等が開催する各種会議、研修会並びに移
植関連学会に参加し、情報収集するとともに、コーディネート技術の習得等に努めた。

Ⅱ 令和 6 年度法人運営

1. 理事会の開催

(1) 第 1 回理事会

開催日時：令和 6 年 5 月 21 日（火）17:00～18:00

開催方法：Zoom ミーティングを活用した Web 会議

決議事項：①令和 5 年度事業報告及び決算の承認

②令和 6 年度第 1 回評議員会の日程等

報告事項：職務の執行状況

出席者等：決議に必要な出席理事の数 6 名、出席 8 名、欠席 2 名

監事出席 2 名

(2) 第 2 回理事会

期 日：令和 6 年 11 月 13 日（水）16:57～17:22

開催方法：会場及び Zoom ミーティング活用のハイブリッド

決議事項：①令和 6 年度第 2 回評議員会の日程等

報告事項：職務の執行状況

出席者等：決議に必要な出席理事の数 6 名、出席 8 名、欠席 2 名

監事出席 1 名

(3) 第 3 回理事会

開催日時：令和 7 年 3 月 4 日（火）17:15～18:10

開催方法：会場及び Zoom ミーティング活用のハイブリッド

決議事項：①令和 6 年度収支補正予算案の承認

②令和 7 年度事業計画案及び収支予算案の承認

③特定資産の一部処分の承認

出席者等：決議に必要な出席理事の数 6 名、出席 8 名、欠席 2 名

監事出席 2 名

2 評議員会の開催

(1) 第 1 回評議員会

期 日：令和 6 年 6 月 26 日（火）16:55～17:50

開催方法：会場及び Zoom ミーティング活用のハイブリッド

決議事項：①令和 5 年度事業報告及び決算の承認

出席等：決議に必要な出席評議員の数5名、出席5名、欠席4名
理事出席1名
監事出席2名

(2) 第2回評議員会

期 日：令和6年11月22日

開催方法：決議の省略による方法

決議事項：①評議員の辞任に伴う補欠評議員の選任

②監事の辞任に伴う補欠監事の選任

③決議があったとみなされる日

出席等：提案書に対し、評議員9名全員による同意の意思表示を得たことから、評議員会の決議があったものとみなされた。

3 監査会の開催

期 日：令和6年4月24日（水）13:30～14:30

開催場所：あきた移植医療協会（秋田県総合保健センター5階）

内 容：令和5年度事業及び決算の監査

出席等：監事出席2名

4 登記事項

令和6年6月3日登記

- ・中嶋洋子評議員の辞任（5月31日）

令和6年12月16日登記

- ・佐々木修評議員、松橋文昭評議員、山岡ふき子監事の辞任（8月31日）
- ・皆川英伸評議員、佐藤栄二評議員、成田睦子監事の就任（11月26日）

5 届出・報告事項（届出・報告先 秋田県）

令和6年6月17日

- ・評議員の変更届の提出

令和6年6月27日

- ・令和5年度事業報告書等の提出

令和6年12月24日

- ・役員等の変更届の提出

令和7年3月12日

- ・令和7年度事業計画書等の提出

令和6年度 臓器移植コーディネーター、アイバンクコーディネーター活動報告

項 目	実 績	内 容
1. 普及啓発事業		
(1) イベント開催	8 回	・街頭キャンペーン④、グリーンリボンキャンペーン、グリーンリボンライトアップ②、種苗交換会
(2) 講師依頼	8 件	・いのちを考える学習会（教育機関⑥、地域活動①）、秋田県警察学校
(3) 啓発資材配布	272 ヵ所	・県市町村、医療機関、グリーンリボンサポーター等 啓発資材配布部数：約 39,330 部
2. 相談・助言に関する事業	31 件	・移植医療、献眼登録等に関する相談対応
3. 臓器移植環境整備事業		
(1) 研修会・会議の開催	4 件	・院内臓器移植 Co 研修会、移植医療推進委員会、関係団体連絡会議、脳死下臓器提供事例研修会
(2) 院内 Co 設置病院等訪問	91 回	・秋田大学病院、秋田赤十字病院、中通総合病院等
(3) 透析施設資料配付等	43 件	・HLA 検査一部助成事業等に関する資料配付
(4) シミュレーション講師	1 件	・秋田赤十字病院
(5) 臓器提供の情報	5 件	・臓器提供の可能性があった情報（内 3 件臓器提供）
(6) 他都道府県あっせん支援	4 件	・脳死下臓器提供におけるあっせん支援 （北海道、青森県、東京都、静岡県）
(7) 提供者家族支援	17 件	・移植を受けられた方々の報告等
4. 眼球あっせん等に関する事業		
(1) 眼球提供者等の登録	5 件	・アイバンク登録証、アイバンクカードの作成等
(2) 角膜、強膜のあっせん	2 件	
(3) 病院訪問	21 件	・アイバンク医療機器等の確認
(4) 献眼対応	1 件	・献眼者 1 名
5. 情報提供事業		・HP 運営、協会だより発行、報道機関対応等
6. 調査研究事業		
(1) 会議、研修会、学会等	18 件	・北海道・東北臓器移植 Co 会議②、全国都道府県臓器移植 Co 会議③、日本移植学会、A 級臓器移植 Co 研修会、秋田赤十字病院研修会、JATCO 研修会、臓器提供施設連携体制構築事業カンファレンス④、長崎大学病院研修会、全国アイバンク連絡協議会、北海道・東北アイバンク広域連絡協議会
(2) アンケート調査	2 件	・移植医療の県民意識調査 （種苗交換会、白神看護学院）

※○数字は回数。

令和6年度事業報告書には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和7年4月

公益財団法人 あきた移植医療協会